

10・20・30・40 リットルの

燃やせるごみ用袋の 素材が変わります



岩見沢市指定ごみ袋は「高密度ポリエチレン」という素材を使用し製造しています。しかし、昨今の中東情勢の影響により入手が困難となったため、10・20・30・40 リットルの燃やせるごみ用袋は「低密度ポリエチレン」に素材を変更し製造します。

なお、素材の使用が少ない5 リットルの燃やせるごみ用袋と、製造数が少ない燃やせないごみ用袋は、これまでと同じ素材を使用し製造します。

これまで 高密度ポリエチレンのごみ袋

手触り シャカシャカしている

色 薄いピンク

特徴 硬くて伸びにくい



これから 低密度ポリエチレンのごみ袋

手触り ツルツルしている

色 濃いピンク

特徴 柔らかく伸びやすい



Q 気になるギモンにお答えします A

Q 新しい素材のごみ袋の強度は大丈夫？

素材の変更後も十分な強度が保たれます

Q これまでのごみ袋は、そのまま使えるの？

これまで通り使えます。また、ごみを出す際のルールに変更はありません

Q 料金は変更になるの？

素材の変更に伴う料金の変更はありません

Q 新しい素材のごみ袋は、いつから販売されるの？

令和8年9月製造分から使用する素材を変更します。お店にある在庫がなくなり次第、新しい素材のものに入れ替わっていきます

Q いつまで新しい素材で作られるの？

今後の見通しは未定です。状況が変わり次第、広報紙や市ホームページなどでお知らせします

環境に配慮した素材を使用

岩見沢市指定ごみ袋は、石油資源から作られるポリエチレンの他、環境に配慮した素材を使っています。

● バイオマスプラスチック

サトウキビを原料としたバイオマスプラスチックを10%使用しています。

● 再生プラスチックなど

低密度ポリエチレンのごみ袋の製造には、今まで使用していなかった家庭から出たプラスチック製容器包装と再生プラスチックを合わせて40%使用します。



指定ごみ袋は安定供給できます

他の自治体では、指定ごみ袋が品薄になっているという趣旨の報道がなされていますが、岩見沢市では十分な在庫を確保しており、今後も安定した製造・供給ができることを確認しています。

必要以上のまとめ買いは、店頭での品薄を招きますので、通常使用される分量を目安に購入するよう、お願いします。



問合先 廃棄物対策課廃棄物対策係 ☎ 35-4395